

四谷地区協議会

「四谷まち歩き 南寺町を訪ねて～四谷ゆかりの歴史上の人物を巡る～」

3月11日（土）、第66回「四谷まち歩き」が開催されました。区内在住・在勤の方16名が参加され、四谷ゆかりの人を訪ねて、南寺町の社寺を巡りました。



START ●● 於岩田宮稲荷神社（左）と陽運寺（右）（お岩さん）●●● ●→ ●●● < 移動は距離を保持して > ●●● ●→



●●● 戒行寺（長谷川平蔵）●●● ●→ ●●●●● 須賀神社 ●●●●● ●→ ●●● 西念寺（服部半蔵） GOAL

令和4年度5月から再開した「四谷まち歩き」。主催者の四谷地区協議会 田中副会長に、事業を始めたきっかけや、コロナ禍での再開にあたって、工夫した点、注意した点などを伺いました。

Q: 「四谷まち歩き」は今回で66回目ということですが、いつごろからどんなきっかけでスタートしたのですか？

A: 平成22年に、東京都「観光まちづくり」着地型観光(住民による観光ガイド企画と観光視点による新たなまちづくり)支援事業の募集があり、四谷地区協議会観光まちづくり実行委員会で、JTB出身の大学教授を講師とした講義を1年間受講し、観光まちづくりと地元のガイド活動について検討しました。翌年から四谷まち歩きガイド養成と「四谷まち歩き」の事業を開始しました。

Q: 令和2年からコロナ禍でしばらく休止していましたが、「四谷まちあるき」再開にあたり工夫した点や注意した点はありますか？

A: まず、密を避けるために、定員を20～25名程度から15名程度に減らし、事前打合せもメールなどに変更し、スタッフ内の接触を減らしてもスムーズに運営ができるようにしました。また、実施の際は参加者同士が距離を取ることを考慮して、少し離れても聞こえるようマイク音量を調節したり、道路横断時に少し離れても対応できるよう、積極的にスタッフがお声掛けするなどの工夫しました。全員マスク着用、人気だったまち歩き後の茶話会は感染状況により中止するなど基本的な感染対策を徹底しました。

Q: 今後の展望があればお願いいたします。

A: ガイドの人材育成や観光視点のまちづくりの推進、新しい視点の「四谷まち歩き手帖」の刊行を目指しています。

四谷地区協議会田中副会長

